

平成 17 年度事業報告書

[1] 政策研究

昨年度に引き続き研修セミナー参加者を中心に研究会を催した<敬称略>。

月 / 日	講師名	役 職	テ ー マ
17 . 6. 16	松 谷 明 彦	政策研究大学院大学 教 授	「人口減少経済」の新しい公式
17. 7. 21	彭 晋 璋	紫玉ジャパン代表取締役	日中の政治、経済に関する当面の問題 点と今後の展望
18. 2. 23	楠 美 憲 章	中央大学 客員教授	なぜ、今、企業改革か一日産自動車 のケースー

[2] 研修セミナー（フォーラム' 80）

官庁、政府系機関、民間企業を中心に各団体から派遣される中堅幹部職員を対象に
として、内外の学者、専門家等を講師に招聘し、我が国経済社会における次代の後継
者を育成することを目的とした研修セミナー（フォーラム' 80）を実施した。

（1） 開講状況（平成 16 年度からの継続を含む）

第 53 期 ： 開講日 平成 16 年 12 月 17 日
 終講日 平成 17 年 10 月 19 日

※ 修了後、第 53 期生会を結成し、定例研究会その他自主活
動を行なっている。

第 54 期 ： 開講日 平成 17 年 5 月 17 日
 終講日 平成 18 年 3 月 14 日

※ 修了後、第 54 期生会を結成し、定例研究会その他自主活
動を行なっている。

第 55 期 ： 開講日 平成 17 年 12 月 8 日

※ 現在受講中

（2） 講師・テマ一覧（本年度実施分のみ掲載、役職は当時、敬称略）

< 第 53 期 >

月/日	講 師 名	役 職	テ ー マ
4.14	森 政 弘	自在研究所 社長 東京工業大学 名誉教授	矛盾を超えるー「非」の論理
4.21	住 田 和 明	防衛庁 陸上幕僚監部 防衛班長	最近の自衛隊を巡る状況について

月／日	講師名	役職	テーマ
4.28	野口秀行	野口事務所 代表事務	21世紀アジア経済の展望
5.12	武田邦彦	名古屋大学 教授	環境問題における科学と非科学
5.19	田中輝彦	あずさ(監) 代表社員	公的機関における最近の会計制度を めぐる諸問題
5.26	吉武博通	筑波大学 教授	企業改革と教育改革 -大学改革の現状と課題-
6.7	シュテ'イ・ゾ'ルタン	元駐日ハンガリー大使	日系企業の中欧進出:EC 拡大のイン パクト
6.23	舘逸志	内閣府 参事官	地域再生への新たな取り組み
6.30	野村徹	国際協力銀行 前ニューデリー首席駐在員	最近のインド情勢と日印関係の展望
7.7	橋本久義	政策研究大学院大学 教授	中国 vs 日本-中国の強み、日本の底 力-
7.14	後藤正彦	(株)博報堂 CC 局長	企業のリスクコミュニケーション
7.21	矢島孝敏	(株)やまと 代表取締役社長	きものと会社経営
9.1	藤田祐幸	慶応義塾大学 助教授	エネルギー問題と原子力発電
9.29	荒木光弥	(株)国際開発ジャーナル 代表取締役社長	国家戦略から見た日本のODA
10.6	磯田道史	茨城大学 助教授	日本人の歴史観
10.13	杜進	拓殖大学 教授	これからの東アジアを展望する
10.19	終講式		

<第54期>

月／日	講師名	役職	テーマ
17.5.17	開講式		
5.24	大来洋一	政策研究大学院大学 教授(当会理事)	日本経済をどう見るか
5.31	黒川和美	法政大学 教授	地域激論-日本の問題、地方の問題 -
6.7	シュテ'イ・ゾ'ルタン	元駐日ハンガリー大使	日系企業の中欧進出:EC拡大のイン パクト
6.21	橋本久義	政策研究大学院大学 教授	中国 vs 日本-中国の強み、日本の底 力-
7.5	佐瀬昌盛	拓殖大学 教授	新しい脅威と日本の安全保障
7.12	田浦正人	防衛庁 陸上幕僚監部 防衛部	イラクにおける人道復興支援活動につ いて

月／日	講師名	役職	テーマ
7.21	矢島孝敏	(株) やまと 代表取締役社長	きもの文化を共に創る
8.31	小野善邦	大阪芸術大学 教授	大来佐武郎評伝
9.27	佐々木秀幸	日本陸上競技連盟 理事	最近のスポーツ界について
10.4	深町宏樹	横浜市立大学 非常勤講師	南西アジアの現状と将来
10.11	呉忠根	帝京大学 教授	北東アジアの安定と朝鮮半島情勢
10.18	渥美堅持	東京国際大学 教授	イスラーム文化－歴史、宗教、政治、社会－
10.25	吉田恵一	東京電力(株) 広報部 マネージャー	電気事業をめぐる課題
11.1	野口秀行	野口事務所 代表 (元日本政策投資銀行)	自民圧勝後の小泉改革の行方
11.8	吉武博通	筑波大学 教授(学長特別補佐)	企業改革と教育改革－大学改革の現状と課題－
11.15	佐藤正典	あずさ監査法人 理事長	日本の監査制度と監査法人
11.22	久保田忠夫	NEC ファクトリエエンジニアリング(株) 取締役	持続可能な社会の潮流－これからの経営と生き方－
11.29	栗山尚一	元アメリカ合衆国駐箚 特命全権大使	これからの日本の針路
12.6	柴田秀司	防衛庁 文書課 法令審査室	国際環境の変化と安全保障－白書作成に携わって－
12.13	彭晋璋	中国総合開発研究院 教授	中日経済貿易関係の展望－いわゆる「経熱政冷」のゆくえ－
18.1.17	後藤正彦	(株) 博報堂 CC 局長	企業のリスクコミュニケーション
1.24	今井和男	弁護士	企業への脅威圧力とコンプライアンス
2.2	二宮正人	弁護士 (日系ブラジル)	2008年ブラジル日本移民100周年に向けての日伯関係の課題
2.7	西岡力	「救う会」常任副会長 東京基督教大学教授	北朝鮮情勢の展望と拉致問題
2.14	森政弘	自在研究所 社長 東京工業大学名誉教授	矛盾を超える－「非」の論理－
2.28	武田邦彦	名古屋大学 教授	環境問題における科学と非科学
3.7	寺島実郎	(株) 三井物産戦略研究所 代表取締役所長	2006年への展望
3.14	終 講 式		

<第55期>

月/日	講 師 名	役 職	テ ー マ
17.12.8	開 講 式		
12.15	大 来 洋 一	政策研究大学院大学 教授 (当会理事)	日本経済をどう見るか
12.22	黒 川 和 美	法政大学 教 授	地域激論
18.1.19	田 浦 正 人	防衛庁 陸上幕僚監部 防衛部 防衛課	イラクにおける人道復興支援活動について
1.26	野 田 健太郎	日本政策投資銀行 政策企画部 課長	防災マネジメントによる企業価値向上に向けて
2. 2	二 宮 正 人	弁 護 士 (日系ブラジル)	2008年ブラジル日本移民100周年に向けての日伯関係の課題
2. 9	加 地 伸 行	大阪大学 名誉教授	儒教と現代
2.16	小 野 善 邦	大阪芸術大学 教 授	大来佐武郎評伝
3. 2	野 口 秀 行	野口事務所 代 表	B R I C s をどう見るかー特にインドと中国を組上にー
3. 9	藤 田 祐 幸	慶応義塾大学 助教授	エネルギー問題と原子力発電
3.16	呉 忠 根	群馬県立女子大学 講 師	北東アジアの安定と朝鮮半島情勢
3.23	藤 原 治	(株) 電通総研 代表取締役社長	「メディア」の昨日、今日、明日ー「ネットとメディアの融合」の先にあるもの

(3) 見学会・合宿・その他活動

①	期 日	平成17年6月17日(金)
	見 学 先	JAL成田地区(貨物地区、旅客ターミナル、オペレーションセンター等)
②	期 日	平成17年8月27日(金)～28日(土)
	見 学 先	陸上自衛隊総合火力演習
③	期 日	平成18年1月20日(金)～21日(土)
	見 学 先	東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所
④	期 日	平成18年3月1日(水)
	見 学 先	陸上自衛隊富士学校

[3] 国際交流

1) 平成17年9月第26回海外研修団を組織し、総勢26名でインド、タイを訪問した。概要は次の通り。

① 期 間	平成17年9月13日～9月24日	
② 団 長	恩 田 宗 氏	(社)総合研究フォーラム 常任理事
③ 副 団 長	原 護 氏	東京エレクトロン(株) 取締役
④ グループリーダー	河 野 隆 氏	国民生活金融公庫
同 上	水 橋 雅 弘 氏	三井物産 株式会社
同 上	小 林 直 樹 氏	KMN 株式会社
同 上	望 月 和 幸 氏	日本電信電話 株式会社
⑤ 報告書編集長	小 林 拓 未 氏	アイル税理士法人
同 上	大野木 幸 夫 氏	東京ガス 株式会社
編集委員	河内山 晃 氏	NTT ドコモ 株式会社
同 上	柿 澤 幸 彦 氏	東京電力 株式会社
同 上	中 村 雄 一 郎 氏	中小企業金融公庫
⑥ 主な訪問地	バンガロール、ムンバイ、デリー (以上インド)、バンコク (タイ)	
⑦ 訪問地別主要行事 (肩書きなどは当時)		
東 京	<ul style="list-style-type: none"> ・ 齊田外務省南西アジア課首席事務官講話 ・ 長谷川外務省南東アジア課事務官講話 ・ 恩田団長講話 	
バンガロール	<ul style="list-style-type: none"> ・ TKM社(トヨタ自動車)訪問 ・ インフォシス社訪問 ・ ジェトロ久保木氏講話 	
ム ン バ イ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安井総領事ほか総領事館員講話 ・ 東洋エンジニアリング 川野部氏、みずほコーポレート銀行伊藤氏講話 ・ A S B社訪問 ・ 安井総領事ほか総領事館員、日本企業駐在員との懇談、意見交換 	
デ リ ー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 榎大使講話並びに館員との懇談、意見交換 ・ S.ナヤン JBIC 顧問 (元大蔵事務次官) 講話 ・ ヒーローホンダ社、モーザーベアー社訪問 	
バ ン コ ク	<ul style="list-style-type: none"> ・ タイホンダ、タイ味の素ベタグロ社訪問 ・ 時野谷大使ほか大使館館員講話 ・ 白崎バンコク商工会議所会頭講話 ・ 団長、団員による研修総括発表 	

2) 平成18年3月特別研修団を組織し、総勢16名で中国・上海を訪問した。概要は次の通り。

① 期 間	平成18年3月18日～3月21日	
② 団 長	大 里 一 志 氏	東急リバブル 株式会社
③ 主な訪問地	中国上海、蘇州	
④ 主要行事 (肩書きなどは当時)	・ 蘇州綜研化学訪問 ・ 上海在住駐在員講話、懇談 (ジェトロ、KPMG、キリンビール) ほか	

[4] その他

- ・ 昨年度に引き続き、研修セミナー (フォーラム '80) の拡充、ひいては本会の経営基盤を固めるべく、趣旨に賛同する参加企業・機関を増やすための活動などを行った。